

令和 4 年度 第 3 回 PTA 運営委員会報告書

令和 4 年度第 3 回 PTA 運営委員会について、ご報告いたします。

日 時：	11 月 17 日（木）10:00～11:50
場 所：	ランチルーム
出席者：	P-40 名（学級代表、校外委員、厚生委員、広報委員、 役員選出委員、執行部） *学級代表は 1 クラス 1 名、各委員は代表者 1 名
	T-2 名 副校長先生、白石先生
司 会：	副会長 當麻 智大
記 録：	庶務 河原 智子、宮本 梨絵、山元 梨沙

1 開会（副会長）

2 会長挨拶【大松 裕 会長】

本日もお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

2 学期も半ばを過ぎ年末も近づいてまいりました。これから来期への間、役員の引継ぎ等皆様のご協力をいただくことが多くなっていきます。引き続き何卒よろしく願いいたします。

3 学校挨拶【畑 大介 副校長先生】

おはようございます。3 点ほどお話しさせていただきたいと思います。

1 点目はお願いです。今日は PTA から新たな提案をさせていただくと聞いています。コロナが始まって、これまでの PTA はいろいろな改善を図っていただきました。今回は更なる提案になるのかなと思っています。しっかり内容を確認いただいてご意見をいただければ、それが新たな改善になっていくかと思っております。よろしくお願いいたします。

2 点目ですが、令和 6 年度の話させていただくと「コミュニティ・スクール」という言葉を聞いたことはありますでしょうか。西東京市で令和 6 年度までに全校のコミュニティ・スクール導入が決まっています。本校は令和 6 年度にコミュニティ・スクールになります。

コミュニティ・スクールとは英語で考えると、コミュニティは地域ということですので「地域に根ざした学校」文部科学省の言葉で言うと「地域とともにある学校づくり」という言い方もあれば「学校を核とした地域づくり」という言い方もあります。つまり、地域と学校がそれぞれの互惠性を持って恩恵を与えるような関係になりましようということです。

導入されるのは「学校運営協議会」という制度です。地域の方が集まって学校の教育課程（計画）をみんなで考えましようという会です。学校が計画するものについて、保護者を含め地域の方々など多くの方が関わりながら学校の運営に携わり、子どもたちのより良い成長を後押ししようという趣旨です。そうすると、今まで学校の先生でやったことをいろいろな方が関わってきますので、子ども達にとってはいろいろな方の考え方などを得て、他者と一緒に協働しながら学んでいく機会を得られると思います。これから外国人の方や違う地域の方々と交流をする機会があります。子どもたちはいろいろな方の考え方や思いを知ることができる機会になるのかなと思います。

全国学力・学習状況調査アンケートで「地域の行事に参加したことがありますか？」という答えの割合が非常に低く、約 3 割程度。コロナ禍ということもありますが、全国的にもかなり低いです。

「地域をよりよくしたいと思う割合は？」というアンケートをしたところ、約 5 割。地域への関心がそんなに高くないのかなという現状があります。こういうことを踏まえていくと、今まさに地域と関わっていく時期と考えます。今日の PTA の提案もこのことにつながると考えます。

3 点目は地域の関わりになるのかもしれませんが、登下校の通学路についてです。登下校は誰が守るのかというところで、学校は「こういうふうに登下校しましょうね」と事前（事後）に言えるのですが、諸外国を例に出すと基本的に親が全て学校まで送り届けたり迎えに行ったりします。

この感覚をしっかりとっていただいて、特に交通量が多いところではいろいろなトラブルがあると聞いていますし、実際に私も見えています。ですので「家を出た」ではなく「学校に入るまで」おうちの方がしっか

り意識して気にかけていただければなと思います。こういったところの視点も今後「地域とともに作る学校づくり」「学校を核とした地域づくり」の部分につながっていくと思いますので、ぜひこんなところも考えて今後のPTAの発展に尽くせばなと思います。

4 会計監査報告

上半期決算を9月末で締め、10月4日に監査を終えましたことをご報告いたします。会計監査報告を会計監査員にお願いしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

<会計監査員より>

令和4年10月4日火曜日にランチルームにて会計監査を実施したところ、適正に処理されていたことをご報告いたします。

<執行部会計より>

ありがとうございました。上半期決算報告書は10月7日に配布しておりますので、ご確認ください。
上半期決算報告・会計監査報告は以上です。

5 執行部からの連絡事項

【会長より】

(1) 学校運営連絡協議会について

10月27日(木)に第2回学校運営連絡協議会に出席しました。学校見学として全ての学年の授業風景を観覧させていただきました。前回の時も思いましたが全ての学年が落ち着いて授業を受けており、モニターやPCを使った授業も根付いてきているのだなという印象を受けました。観覧後の向台小学校の学校としての学力が都内の中でも高いということをご報告、説明していただき、当校の教育が上手く機能しているのだなと実感し感銘を受けました。

(2) 市懇談会について

11月15日(火)に市長・教育長との懇談会に出席して参りました。この懇談会は西東京市の各小中学校からの要望を市長に訴える場になっております。向台小学校から出した個別要望は次のとおりです。

<向台小学校の個別要望>

- ①外壁剥離及びクラックの改修
- ②校門から昇降口の水はけ改修
- ③学校行事における警備員の手配

個別要望に対する回答は例年年度末となっておりますので、回答が届き次第、報告させていただきます。

<小中学校の全体要望>

①学校内のWiFi環境の整備

普通教室についてはGIGAスクール構想に乗っ取り、令和4年度に通信環境を改善しました。

問題となっている体育館や特別教室に関しては使用頻度を踏まえポケットWiFiを活用する形を取って下さい、市としては今後とも円滑なオンライン授業に向けた支援を行って参りますとのこと。

②児童・生徒の居場所づくりのための人材確保(スクールカウンセラー、図書館司書、学校生活支援員等)

学校では、学校生活支援員をはじめ様々な教職員が児童、生徒の健やかな成長を支えるために関わっており、児童生徒が相談したい場合にはすべての教職員がどの学年、どの組の児童生徒であっても、その声に耳を傾けるように組織的な対応を図っております。スクールカウンセラーについては、児童数が多い中原、向台、上向台の各小学校には市のスクールカウンセラーも配置しています。

今後とも、児童・生徒が気軽に相談でき、健やかに学校生活を送れるように組織的な対応の充実を図って参ります。※都のカウンセラーは(年間38日)市のカウンセラーは週に1回です。

③市内小中各校が抱えるトイレ問題の改善

トイレ環境の改善については、建替え、大規模改造で改修済みの学校を除き、令和4年度に校舎のトイレの床改修・便器洋式化・LED照明取替、手洗い場の自動水栓取替等を行って参ります。今後にも必要に応じて修繕等での対応を行い、トイレ環境の改善に向けた取組に努めて参ります。

<小学校全体要望>

①暑さ対策について(教室、校庭、プール等)

学校内の暑さ対策については、冷暖房機器の保守点検を実施し、機器の性能維持に努めております。施設状況等踏まえ、効果的な暑さ対策の方法を検討して参ります。(ミストシャワーの増設、遮熱カーテンの設置、日よけの設置)

②支援員、スクールカウンセラー、常駐司書の増員

学校図書館の開館に関しては、児童の委員会活動により、各校で工夫を図りながら児童が安全安心にいつでも図書を利用できるように学校に働きかけて参ります。

③給食室のエアコン設置

給食室のエアコン設置については、老朽化による校舎建て替えの際、給食室のドライシステムの導入と合わせて行うことが効果的と考えております。暑さ対策については施設状況等を踏まえ、効果的な対策を検討して参ります。現状行っている施策としてはスポットクーラーの設置、アイスベスタの着用、作業服の軽装化です。

<懇談会の議題>

①コミュニティ・スクールについて

②35人学級について

③育成会など地域の連携について

この3つについて話をしました。コミュニティ・スクールが始まるとPTAのあり方も一新されるかもしれないので皆様注視していただければと思います。

【副会長より】

(1) 施設開放運営協議会の報告

11月から土日祝日に開かれる校庭遊び場開放の使用時間が冬時間に変更となるということです。いつもでしたら17時までなのですが、16時までになりますのでご注意ください。1月もしくは、2月に校庭及び体育館を使用したい方は12月6日の定例会議で申請手続きをいたしますので、それまでに赤かごの中に申請書をご提出ください。

(2) 学校公開振り返り

10月15日(土)に学校公開が行われました。昨年度はオンラインでの開催でしたが、本年度は対面式での開催となり、たくさんの方にご来校いただきました。むこサポの皆様には西門、東門にて来校証のチェックをお手伝いしていただきました。皆様のご協力により、大きなトラブルや混乱もなく開催することができました。また来校証着用のルールが浸透してきた様で、来校証忘れによるベスト対応は2件のみでした。係の方への開催後アンケートでは、『係の人数を減らしても良いのでは』と言ったご意見を多く頂戴いたしましたので次年度以降への課題とさせていただきます。

(3) PTA主催企画「キッズカポエイラ」の振り返り

10月29日(土)にPTA主催企画「キッズカポエイラ」を開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。皆様のご協力により、大きな怪我やトラブルもなく無事に開催することができました。西東京市A&Aスポーツセンター様ご協力のもと、異国の文化に触れ、当初の目的であった国際理解教育や地域人材を活用した子どもの健全育成にも繋がったのではと感じます。次年度以降も継続的にPTA主催企画を催し、向台小学校の子ども達には様々な体験をしてもらいたいと願います。

(4) 避難所開設訓練の報告

11月5日(土)に避難所開設訓練を実施しました。体育館や東校舎を中心に、実際受付、ファミリールーム、カーペットマット、簡易トイレなどを設置しました。先生方をはじめ、市職員、地域の方々、むこサポの避難所訓練係にも参加いただきました。終了後に各班長から、改善点などの意見交換を行いました。

【庶務より】

(1) ミマモルメ保護者ログインID通知方法の変更について

ミマモルメ斉メールシステム導入時からこれまで、学校経由で配布していたID票(ログインIDを記載した紙面)での通知方法から、11月1日よりメール通知でログインIDを受信できるように変更されました。ID票紛失時もメール通知で即時配信されますので、お手続きに時間がかかりません。受信方法(メールアドレス、アプリ)の追加・変更は、保護者様自身でこれまで通り行っていただきます。お手続きに関するご不明点は、ミマモルメナビダイヤルへお問い合わせください。

<ミマモルメナビダイヤル> 0570-081-300【受付時間】8:45~12:00 13:00~17:30(土日祝日を除く)

(2) PTA室内のごみ分別について

ごみ箱の近くにごみ捨てる分別表を掲示してあります。家庭ごみはお持ち帰りいただき、業務上で出た不要ごみは分別表の通り仕分けして処分するようにご注意ください。

(3) 腕章の返却について

次回第4回運営委員会にて腕章の返却をお願いします。欠席される方は出席される方へ預けていただくか、「赤かご行き、児童の学級と氏名」とメモを付けて児童を通じて担任の先生へ提出してください。

【会計より】

(1) 来年度の予算および会費について

来年度の活動について、まだ流動的な状況です。適正な予算立案および会費設定ができるよう努めてまいります。会費集金につきましても銀行振込への切り替えや従来の集金方法との併用とする等、様々な手段を検討しております。会員の皆様には変更によりお手数をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

(2) 予算委員会についてのお知らせ

令和4年2月16日第4回運営委員会終了後、予算委員会を開きます。学級代表の方は、ご出席いただきますようお願いいたします。

6 次年度の委員会及び係の見直し

【会長より】

先日ミマモルメにて選出の会中止のお知らせを配信いたしました。本来であれば立候補公示前に皆様へこれからお話する改革案についてご報告しておくべきでしたが、役員選出委員会や学級代表の皆様もこのためにご準備されてきた中、この時期になりましたことを改めてお詫び申し上げます。来年度も私は執行部に留まりこの改革を見届けていく所存です。

より身近で気軽に参加でき、子ども達の笑顔のための活動を継続的に行える向台小学校PTAにするために配布資料(次のP.5-7へ掲載)の案を進めております。

資料をご覧ください。今回の決断に至った一番大きな理由は会則の趣旨に沿った活動を継続するのは現状だと困難だということです。この改革案はPTA活動を継続するためのものだとご認識ください。活動継続を困難ならしめている3つ要因を改善しております。

- ①役員選出の際に発生する強制性のできる限りの排除
- ②活動のできる限りのスリム化
- ③より親しみをもってもらうための組織改革

①については任意団体にも関わらず、望まない人に強制的に役員を選ばせている行為をできる限りなくしたいということ。執行部については、規定の人数を撤廃して集まった人数だけで運営を行う形にできればと考えております。

②委員会の統合・廃止や、運営委員会の休止を検討します。これにより参加人数を絞れ、各々の活動量も縮小できるかと考えております。

③当校が目指す学校像に基づき「子どもたちの成長と笑顔あふれるようなイベントの企画や開催のお手伝い」をできればと思います。これに関しては執行部(運営チーム)も企画することがありますが会員の皆さんからの企画も幅広く募れればと思っております。これは会員の皆さんにできるだけ柔らかいイメージを持っていただき参加を促すものです。こういうイベントが皆様の関心をひき参加を促すことができれば当会の活動の継続性に大きく貢献することになるかと考えております。

配布資料の説明後、質疑や活発な意見交換が行われ、グループディスカッションの時間を設けました。質疑や意見内容(P.9-12に後述)を受け、当日配布の改正案資料から更新した内容を次ページよりP.5-8に掲載します。運営委員会出席者の皆様も今一度、内容のご確認をお願いします。



堅苦しい PTA 活動を刷新

「むこさぽカンパニー」へ



PTA 執行部では近年、新型コロナウイルス感染症の影響や全国の PTA 活動の取り組みを考慮し、「持続可能な PTA 活動の在り方」をテーマに、活動内容についての見直しを図ってきたところです。今年度はワンデーサポーター『むこサポ』の活動方針を主軸とし、「子どもたちの成長をサポートする」との目標を掲げ、主体的な活動を目指しています。しかし、今年度の役員選出の立候補状況や年度当初の係り決めでの立候補が少ないことを考えると、PTA 会則の趣旨に沿った活動を継続するのは難しいと感じています。

長年積み上げてきた PTA 活動を見直すのは、葛藤もあり、容易ではありません。本来であれば立候補公示前に皆様へご報告しておくべきでしたが、この時期になりましたこととお詫び申し上げます。

この改革案は、活動を困難にしている皆様の負担軽減をはじめとする様々な要因を改善し、PTA 活動を持続可能なものにするためです。また、より身近で会員の皆様が気軽に参加でき、子どもたちの笑顔のための活動ができる向台小 PTA にするために関係各所との協議や執行部内で検討を重ねており、来年度の活動について以下の案を提案します。

向台小学校 PTA 改め

「むこさぽカンパニー」へ



カンパニー (company) は「会社」というイメージがありますが、他に

『一団、つき合い、交わり、仲間』

というような、一緒に過ごす相手を指す表現でもあります。



来年度の活動案 3つの柱

純粋に子どもたちに直結するお手伝いや保護者の皆様や関係各所と協力し、様々なイベントを企画・運営の活動に注力します。

後述する PTA 会費を利用した校門警備外注化や行事の運営補助業務の削減を実現させ、『むこさぼ』のコーディネーター的存在へ！むこさぼの募集は続ける予定ですが、保護者も楽しく気軽に参加できる組織に！

運営委員会の休止、 改革と企画に集中！

運営委員会を休止し、子どもたちの笑顔のための活動を企画します。

様々なアイデアを募集、持ち寄り、保護者の方もより活動に参加しやすく、気軽に参加でき、**楽しめるむこさぼカンパニー**を目指します。その一環として、校外委員会を除く専門委員会活動の見直しをします。

令和4年度
PTA 主催企画の様子



執行部の改編

子どもたちの成長と笑顔をサポート！

学校と地域・保護者が一体となり、向台小が目指す学校像に基づき、学年・学級活動や授業支援を通して子どもたちの笑顔のために活動します。



来年度の活動案による 3つの大きなメリット

- ① PTA 会費を利用して校門警備の外注化を実現すると、執行部含む保護者全員が心おきなく子どもたちの笑顔と成長を応援することができます（詳細は P4. 末尾参照）。
- ② この改革が進むと、新年度にクラスから選出する係は、クラスリーダー（旧学級代表）と読み聞かせの2つのみです。
- ③ 現状、執行部が学校・地域の行事の運営補助をする際には、
 - ・学校との業務内容の精査や調整
 - ・校門警備係等の配置調整、書類作成や周知のための作業
 - ・係との連絡や問い合わせ対応 をしています。
 他にも年間を通して、各関係団体との調整や定例会への出席もあります。運営委員会のための事前準備やリハーサル、次年度の係り決めのための調整や準備等、決められた業務をするために多くの時間を割いてきた執行部の仕事量が激減します。会議のための会議も軽減することで、執行部は子どもたちが楽しめるイベント企画に力を注げることが可能になります！

デメリットは？

クラス選出する係を絞ることで、立候補が減る可能性が懸念されます。しかし、そのために執行部の膨大な仕事量が見直されず、**PTA 活動が持続可能なものにならないことの方がデメリット**と考えます。

PTA 見直しの経過と今後の予定

令和3年第3回運営委員会『むこサボ』提案
全会員へのアンケート実施

済

令和4年4月～
『むこサボ』の試行的スタート

済

令和4年第3回運営委員会
「むこさぼカンパニー」の提案

済

今後

令和5年1月予定
令和5年度へ向けた
会則改正のための臨時総会開催

令和5年4月
むこさぼカンパニー始動

今後の取り組みについて（案）

- ◆ 令和5年度からの取り組みは、変更する可能性があります。
- ◆ 以下の表にある職務は基本的に兼任できませんが、むこさぼとの兼任はできます。
- ◆ 活動内容や担当人数等について

	人数	活動内容
運営チーム （旧執行部）	リーダー 1名 サブリーダー 複数名 （教職員含め） 会計 2名 （規定なし）	従来の運営委員会は休止します。 子どもたちに直結するお手伝いや笑顔のための活動企画を中心に運営します。 むこさぼの募集活動を行います。 活動報告の場をどうするかは検討中です。
会計監査	1名	年2回（10月・4月）の会計監査を行い、監査報告をします。 第三者の立場で監査を行います。
クラスリーダー （旧学級代表）	各クラス2名 （2×学級数）	（詳細は検討中）学年または学級活動の企画を担っていただきます。運営チームと各学級とのパイプ役になります。
施設開放運営協議 会 PTA 出向者	【新3年生】 全体で4～5名 ※選出学年は施設開放運 営協議会からの希望で す。	PTA 主催イベント等で会場を優先的に借りる上で必要であり、施設開放運営協議会からも参画のお願いを受けています。 校庭・体育館の施設開放事業の企画及び運営管理を行う協議会に、向小 PTA の担当者として執行部と一緒に出席します。 毎月第1火曜日の16時30分から定例会があります（代表者1名：交替可）。運営協議会の中では、庶務、会計などの役割を担います。
交通安全協力員	【新2年生】 学年で2名	市からの委託業務として、交通安全に関する会議や講習会（年4回）に参加し、校外委員会にて報告します。2年生の自転車教室が実施される場合は、係りの取りまとめをします。

名称も変えて
親しみやすく！

この改革が進むと、新年度にクラスから選出する係は、

クラスリーダー（旧学級代表）と読み聞かせの 2つのみ です！

	人数	活動内容
校外役員 ※令和4年度よ り選挙で選出	委員長 1名 副委員長 2名 名簿会計 1名 書記 1名 （5名）	校外役員は全会員の立候補の互選により選出されます。 児童の命を守る上で必要な登下校のサポート業務 です。学校や市役所等関連部署と連携した対応をしています。 ながら、校外における児童の安全に務めています。
校外委員	各地区から正・副代 表の2名 （2×16地区）	校外委員は各地区から正・副代表2名を選出します。 校外での児童の安全を図るため、パトロール・危険箇所での旗だし・集団登校のサポートを行います。校外委員会に出席します。

厚生・広報・役選は子どもの笑顔を引き出す活動の視点で統合・廃止を検討します。

卒業準備委員は卒業準備サポーターとなります。

永久免除権について

既にお持ちの旧 PTA 執行部と校外役員（令和3年度以降）の永久免除権、各専門委員長の委員長免除権は継続されます。

令和5年度の PTA 執行部役員、令和5年度以降の校外役員は引き続き永久免除対象となります。ただし、永久免除権は PTA 活動への参加を妨げるものではありません。

皆様のご参加を心よりお待ちしております！

歴代務めていただいた皆様、
ご協力ありがとうございました！！



むこさぼ		目安人数	内容
1	演技発表会 (運動会)	クラスで 4人	演技発表会の当日に、各門での来校証確認などを行います。 在籍する児童が多い方は演技等を見られない可能性があります。
2	学習発表 (学習作品展)	クラスで 2人	2学期に実施される際の受付や案内、来校証確認などを行います。 ※日程は学校年間予定表をご確認ください。
3	学校公開	クラスで 2人	土曜日の学校公開の時に各門で、来校証の確認をします。オンライン授業の場合でもお手伝いをさせていただく場合があります。 ※日程は学校年間予定表をご確認ください。
4	読み聞かせ	クラス選出 上限なし	年間を通して、学校指定日の朝8時30分から10分間程度、読み聞かせを行います(学期に数回)。本は自分たちで選び、数名で読んだり、一つの本をリレー方式で読んだりすることもできます。オンラインや録画でも可。在校保護者によるサークル開設者を募集中です。
5	学年・学級支援	—	学年やクラスの学習補助、学年行事の運営補助や行事のお手伝いを都度募集することがあります。
6	避難所訓練	—	例年10月～11月頃開催予定の「避難所訓練」に見学・参加します。
7	あいさつ 運動	—	例年7月中旬、朝8時～8時半頃まで、校門で地域の人や子どもたちに向けて元気にあいさつをします。「西東京市社会を明るくする運動」の一環です。
8	花壇整備	—	春・秋(5～7回程度)に向台けやき会主催で、委員会活動時など地域の方々や子どもたちと楽しく花壇整備を行います。 1回の参加でも、当日参加でもOK!お気軽にご参加ください!!
9	新町子ども 縁日	—	7月の土曜日に新町児童館で実施する「新町盆踊り子ども縁日」のお手伝いです。時間は、16時頃～19時頃の予定です。子どものお店の手伝い、会場の整理、駐輪場整備などをします。令和3年度は未実施。
10	自転車教室	—	交通安全協力員と2年生の自転車教室のお手伝いをします。近年は、学校にて自転車シミュレーター交通安全教室をもって実施。
11	もちつき大会	—	12月上旬に行われる向台けやき会主催の「もちつき大会」のお手伝いです。前日の準備と当日のお手伝いをお願いします。教室の清掃、校門の警備、お餅を丸める作業をします。天候により順延、新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる可能性があります。令和3年度以降は未実施。
12	歩け歩け会	4人	毎年11月3日(祝)に西東京市で行われる「歩け歩け会」のお手伝いです。多摩湖自転車道を狭山公園までを見守る「歩け隊」「自転車隊」や「受付・案内」など、役割を選べます。令和3年度以降は未実施。

外注を
検討中
※詳細は
末尾参照

クラスで
対応

※太線黒枠またはグレー塗りの項目は、新型コロナウイルスの流行状況によっては、変更・中止となる可能性があります。

※4は各クラスで学校からの募集となる可能性があります。学校と相談中です!6以下も関係各所と協議中です。

校門警備の外注化について

近年のセキュリティ強化のため、ボランティアの範囲を超える仕事だと感じています。保護者証不携帯により入校をお断りする際は、保護者同士のトラブルや事件性の可能性を危惧しています(実際にそれに近いことは既に起きています)。万が一のトラブル対応のために執行部が交代で校門警備に当たらずを得ません。実際に犯罪につながる不審者が現れた場合の対応は保護者では対応しきれず、不測の事態を避けるため、校門警備の外注化の検討を進めています。

【会長より】

具体的なことを少しご説明いたします。PTA が継続可能にするためにまず取り組んでいきたいのが活動のスリム化と強制性の排除です。本来であれば任意団体である PTA は、状況が許す方がやるのが本来の形ではあると思います。あまり気が進まない方を強制的にやらせるような空気をなるべく減らしたい思いから、運営チーム（旧執行部）の人数規定をなくし、肩書きも親しみやすい名称変更を検討しています。サブリーダーとは庶務と副会長のことを指しますが、具体的な仕事内容については立候補していただいている方々と相談しながら決めていければと思います。また係の規定人数をなくし、やりたい方がむこさぼとして気軽に活動参加できる仕組みにしていきたいということです。まず厚生・広報・役選の委員会を統合・廃止を検討し、卒業準備委員会は卒業準備サポーターと名称変更をし、運営のスリム化と参加のハードルを下げたいと思います。

演技発表会・学習発表会・学校公関係も外注化を検討し、クラス選出の必要性をなくしたいと考えております。読み聞かせについてはクラスか学校からの募集になる可能性があります。学校と協議して決定します。

PTA 活動を継続させるために活動と人数のスリム化を計り、子どもたちの笑顔に直結する活動へシフトしていきたいと思います。この運営委員会をとおして色々なご意見をいただきながら、今後に向けて建設的な話し合いができればと思っております。何かご意見やご質問等がありましたらお願いいたします。

【改革案についての質疑応答】

<役員選出委員長より質問>

色々考えていただき本当にありがとうございます。今の話の中で規定人数をなくすということをおっしゃっていたと思うのですが PTA 会則などはどうなりますか？

<会長より回答>

PTA 改革を進めるとなると PTA 会則変更を検討する必要があるかと思っております。総会承認を経て会則変更の流れになりますので、臨時総会をどのタイミングでやるのか、具体的な段取りを進めたいと思います。

<役員選出委員長より質問・意見>

この運営委員会で必要性を認めれば臨時総会を開くことができると会則に記載があります。今のコロナのこの流れで行くと書面決議で臨時総会することは、次の総会を待つよりずっと楽だと思います。次の運営委員会も 2 月になってしまうので、臨時総会の開催をするかについて、できれば今日決を採っていただきたいという思いがありますがいかがでしょうか？

<会長より回答>

おっしゃるとおりだと思います。今日の話合いを踏まえて早急に対応を考えていければと思います。ご意見ありがとうございます。

<役員選出委員長より質問>

副校長先生に質問になりますが、コミュニティ・スクールが始まると PTA の形が変わっていくかもしれないという話でしたが、PTA 会長や執行部がいなくなったときに学校運営協議会が中心となってやっているとあり、そちらの方から市との懇談会などの会議に出たりするのでしょうか？例えば学校としての要望などを市へ上げるときに PTA がなくなった場合は誰が行くことになりますか？学校運営協議会の中の人が学校の代表として行くようになるのでしょうか。

<副校長先生より回答>

学校運営協議会を設置したのがコミュニティ・スクールです。今ある学校運営連絡協議会というのは報告やご意見をいただくような場です。学校運営協議会は「協議」をする場です。学校運営協議会は学校のサポーター的な存在で、学校に改善点のアドバイスをいただいたり、評価をしていただくような団体であって、PTA や市の懇談会等に参加することはありません。

<学級代表より質問>

PTA が変わるということですのでごく喜ばしいことだと思いき基本的にはすごく賛成なんですけれども、今度役員選出の会があるはずだったところがまず前提にあって、それが突然開催しないことになり、そのことについて詳しくこちらでご説明いただくとのことだったのですが、その回答が今回の改革案なんだと思いますけど、そこからここに繋がった流れとか経緯をご説明いただければと思います。

<会長より回答>

当初はいつも通りの段取りでやっていければというように執行部として考えておりました。同時に現状の立候補者の方々も定員を満たすような人数ではなかったということと、先程ご説明したとおり、このままだどこかで強制性を発揮するような決め方になってしまう可能性がありましたので、自分としても執行部としても避けたいという思いがありました。タイミングとしては本当に遅くなって申し訳なかったのですが、今まで何時間もかけて誰かが出るのをじっと待つようなことをなんとか避けたいという一念で、緊急となってしまうましたが、選出の会も中止にし「執行部自体のあり方を変えていこう」というような形になりました。今までの前例踏襲をしたくないなという思いがこういう形に繋がったということでご理解いただければと思っております。

<広報委員長より意見>

ご提案ありがとうございます。一方でやはり心配なのが、形が変わっても結局はどなたかにやっていただかなければならないとなると、その人たちがやりたくなくなるようなものでなければ結局立候補者が出ないことです。スリム化は良いと思いますが、不公平性というのはやはり出てしまう。今年も実はそういうことがあり4月の係決めの際に、多数立候補者が出ていた係では、そこでやらない人も出ていただけれど、立候補者がいない係ではせっかく免除権を持つての方が誰もやる人がいないなら困るだろうから「誰もいなければやりましょうか？」と手を挙げてくださったのに、その人がそのまま係に決まってしまうということがありました。それを見ていて、理念がよくてもなかなか運用部分で上手くいかないということがあるんじゃないかと思うので、そのあたりまで考えてやっていけたらいいなと思いました。

<会長より回答>

貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思います。本当にまだまだここをこう改革しても課題もあるのかなと思っておりますので、なるべく皆様にご納得いただけるような形で改革を進めていければと思っております。

<副校長先生より回答>

様々なご意見を伺っているところですが、先程「本来の理念に戻しましょう」という話をしました。資料に書いてある『子どもの成長をサポートする、学校が目指す笑顔があふれる』をキーワードにPTA業務の内容をより精選しましょうということです。先日、PTA主催企画【キッズカポエイラ】が開催されました。子ども達の笑顔がいっぱい見られたのではないかと思います。青少年育成会向台けやき会のカルタ大会の際も参加している子どもたちは非常に楽しそうに参加していました。こういうことが本来のサポートなのではないかと常日頃感じています。むこさぼカンパニーの力でそのための機会を増やしていただければありがたいです。

裏面にある（クラスから選出する）むこさぼの種類によっては、子どもの笑顔を実感できないこともあるかもしれません。でも様々な仕事はそうした人たちの懸命な見えない支えによって子どもたちが安全で安心でいられる環境づくりにつながっているといいます。子どもたちの笑顔が実感しにくい業務に人が集まりにくいという状況があるかもしれませんが、ぜひ精選・見直しをしているところですので、試行実施してみて改善点が出てくるかと思いますが、皆様には運営チームの想いをみんなでサポートするという意識を持っていただきたいと思います。そして、現実と理想のギャップをどう埋めていくかというのが、これから私たちに課せられたミッションであり、楽しみであるのかなと思いますので、執行部へアイデアや案を寄せていただき、より活性化していくことがとても必要だと感じます。

例えば、読み聞かせのボランティアが出ませんでしたとなった時に、皆さんどうしますか？どんなアイデアがありますか？そういう時に教育DXやデジタルをうまく活用しましょうという案が出てくると思います。個人情報の問題もありますが、動画を撮って他のクラスでも見せるという手段もあるかもしれません。様々な手段を考えていくことが大切です。

不公平なくみんな平等にという意識があるかとは思いますが、一人一人に様々な背景があり、できない理由があるのではないかと、ではそれをできるようにするためにはどう支援、サポートが必要なのか、そんな感覚を持ちながら多様性に対応していくことが重要で、理念を大切にしながら多くの人が参加しやすいようにみんなで考えていくことが非常に重要だと考えます。

<広報委員長より意見>

今副校長先生から教育DXの話が出たので、私たちはやりたくてもやれないという人も当然いて、私も実際仕事休んでこなければならぬというのもあります。例えばそういう人でも事務の作業だけやってくださいとか、あるいはオンラインを使った会合（オンライン運営委員会）であったり、それもまたできる可能性があると思います。得意な分野をそういうところで発揮できることもあると思うので、そういう作業の切り分けも含めて検討していけたら良いなと、今の先生のお話を伺って思いました。

<執行部より補足説明>

まだ確定段階ではないですが、現在 PTA スリム化に向けて活動精査して行く一方で、「企画重視」というキーワードが出ています。子どもたちのお楽しみ企画を回数増やして開催し、こちらで企画するものだけでなく、例えば保護者の方から持ち込みのアイデア募集をしても面白いと思います。目標としては学期に1回、もしくはアイデア数と機会とマンパワーが許せばそれ以上、何回でも開催しても良いかと考えています。その中でパーツでお手伝いに参加していただいたり、むこさぼカンパニーに所属していなくても、アイデアを持ち込んでその企画段階から一緒にご参加いただくなど、もっと自由な活動にできたら良いなど部内で話しているところです。

<副校長先生より補足説明>

学校行事における校門警備に関してですが、廃止や外注を含めて検討中とありますが、非常に新しい発想だと思います。PTA 予算を使って警備を雇うことで、PTA 執行部を含む保護者の方に校門に立っていただく必要がなくなります。私は話を聞いた時に斬新でいいなと思いました。それによって、保護者の方々が子どもの笑顔の姿を全部見ることができそうですよね。みんながみんなの笑顔を見ることができるとても素敵なことだと思います。

資料に具体的には書いていませんが、低学年の生活科等の授業の引率や補助もむこさぼだと感じています。キャリア教育等でゲストティーチャーとして来てくださると依頼した時にも快く引き受けて下さって、見えない活動かもしれませんが、子どもたちが楽しそうにしていたり、子どもたちが学校の環境を良くしようという意識につながっています。サポーターがたくさん増えて、こういう大人の関わりをぜひたくさん持っていたきたいという願いがこの理念にも込められているのかなと感じます。全員参加が難しい状況でも、一人でも多くの方が参加していただければ、それだけでも進歩だと思います。子どもたちの笑顔がどれだけあったのか、増えたのかを評価の指標にさせていただいて、保護者の方にもやって良かったという思いが生まれればと思います。また、会長からも先ほどお話がありましたが、前例踏襲でいいという感覚ではなく、現在の実態を見て新しく変えていこうと感じられたと思いますので、承認いただければ始動に向けて準備を整えたいと思います。

5 分間グループディスカッションを行い、提案に対する意見を提出いただきました（内容は P.15 後述）

<テーブルディスカッション後、副会長より>

話し合っていたいたところ、今聞いておきたい質問事項がありましたら挙手をお願いします。

<役員選出委員長より質問>

係とか委員が縮小するにあたって 4 月の保護者会での係決めはどうなるんだろう？という話が出たので皆さんも聞きたいと思うので、現時点で決定じゃなくても構わないので教えてください。

<会長より回答>

4 月の保護者会の係決めで決める役は、クラスリーダー（旧学級代表）と読み聞かせの 2 つのみです。

<校外委員長より質問>

4 月の保護者会で決めるクラスリーダーと読み聞かせを決めるときに、免除権のある執行部や校外委員免除権はなくなってしまいますか？これを決めるときになんとなく自分の気持ちの中で効力が発揮され、なくなってしまうと残念です。

<執行部より補足説明>

令和 5 年度以降の校外委員に関しては仕事内容が今のまま変わらないのであれば永久免除権は継続、執行部に関しては今後の仕事の整理状況をみて議論されるべきだと思います。今までの永久免除権をお持ちの方の効力がなくなるということはありません。

<校外委員長より意見>

現状だと校外委員の地区の正代表副代表が他の係を年度内は免除で、正代表副代表以外の地区委員の方は（その他の）係も兼任っていう形になっていますが、そこがちょっと大変だなと話しておりました。

<執行部より補足説明>

昨年度の校外役員さんに聞いたところ、各地区の地区委員（班員）は地区独自のものという認識のもと、校外委員会からお願いされているものではないそうです。地区によってさまざま、地区委員（班員）がいる地区と、いない地区があるようですので、地区で話し合っていた方が良いかもしれません。

<校外委員長より意見・質問>

PTA がより主体的になっていく中で、校外地区委員はメンバーを決めるのがすごく強制的で、現地区委員が次年度の地区委員をスカウトしてくるという現状です。何か良いアイデアがありましたらアドバイスいただけないでしょうか？

<役員選出委員長より意見>

校外委員の地区の正副代表とかも学校の保護者会の時に決めるのはどうだろう？という意見もあり、前の人が探して来ると、その友達だとなかなかやらないやけなかったり色々ありますよね。クラスだとももちろん地区がバラバラなので、地区で集めてもらうなど。保護者が集まる機会がないと難しいと思います。

<副校長先生より回答>

むこさぼと理念は近い部分はあると思いますが、校外委員会に関しては『命を守る』ことが前提です。子どもの命に直結する委員会でありますので、保護者の方の協力が必要不可欠です。そこは非常に重要なポイントで、大切な役ということを自覚していただいて主導していただきたいところです。ですから今の決め方、考え方で間違っていないですし、そうあるべきだと思います。

<校外委員長・広報委員長より意見>

地区委員の決め方はそれでいいのかなと思いますが、それであるならばなおさらその人たちはやっぱり学校で大事な役をやっているので学校のクラスから選出する係には免除があると嬉しいです。

<学級代表より質問>

昨年度のむこサポが発足したり、それに伴って委員の人数が減ったりとかっていうのが送られてきた時に、どうしてそうなったのかとかそうする理由が分からなくて、ただスリム化されてやる人が少なくなって良かったなぐらいの印象だったんです。今回もこのように、変更しますという形で皆さんに送っても同じようにとらえられてしまうのではないかなという不安があります。

令和 6 年度にコミュニティ・スクールも始まるっていうことでしたので、そこに向けた準備期間として PTA の改革見直し準備期間をこの令和 5 年度にやって、6 年度コミュニティクールが始まった時に「PTA もこのような改革をします。そのための準備期間ですので、皆さんの意見をお寄せください」というような、皆さんに知ってもらう 1 年間にした方が、改革が始まった時にスムーズに進むのではないかなと思っています。今、急速に進めてしまうと執行部のみなさんの気持ちと他の会員の皆さの気持ちとすごい溝があるような気がするので、今ここで進めてしまってその溝が埋まらなくなってしまうのを懸念していますがどうでしょうか？

<役員選出委員長より意見>

具体的に溝ってというのはどういうことが考えられますか？

<学級代表より質問>

子どもたちの笑顔のために協力してやっていきたいと思いますということで、強制的に何かをやらされるのではなくて皆さんがやりたいこと、皆さんの気持ちをもとに運営して行きたいというのが多分根底にあるかと思うんですけども、その気持ちというのが一般的には浸透してないんじゃないのかなというふうに感じています。何のためにこういう形に変えていきたいのかというのを知ってもらった方が良いのかなと思いついて、例えば保護者会の最初にビデオを見た時間が前はあったんですけど、そういった形で学校側からの説明ですとか、現執行部の方々の思いですとかを保護者の皆さんに知ってもらって、意見を上げてもらうことで参加しているという意識を高めていって、その結果こういう形に変わりましたという方が皆さんの今後の参加率が上がっていくのではないかなというふうに思います。

<副校長先生より回答>

1 年かけてどこまで改革できるのかは正直分かりません。しかし、トライアルアンドエラーを繰り返して精選し続けるのが大事かと思っています。そのための準備期間です。実際何も変化がなければ、当事者意識も高まっていけないと思いますので、意見をいただきながら少しずつ変えていくことは必要かと思っています。0 か 1 ではなくて、その間の 0.5 ぐらいは進めていかないと、次改革したいと思った時に、今より膨大なエネルギーが必要になると思います。全員に理解していただくために、時間をかけて粘り強く働きかけて、文化にしていくことが大切です。また、ここにお集まりの皆さんは各学級で選ばれた人で、運営に携わってくれる方々だと思っていますので、今回協議した内容や趣旨を踏まえてご自分の言葉で、クラスでお話いただくことでご協力いただけたらと思います。みんなで一緒に汗流して、みんなでやってみようっていう意識をもって、不易の部分と流行の部分が共存できれば良いと思います。

【会長より】承認事項

ありがとうございました。改めて皆様からのご意見を伺い、メリットとデメリットをご説明した上で、今後も持続可能な活動にするため、参加のハードルを下げられるような仕組み作りと周知徹底を努めます。本日皆様からいただいたご意見は今後の課題にさせていただきます。

今回提案しましたむこさぼカンパニーのアイデアについて、承認される方は拍手をお願いします。

→拍手にて賛成多数、承認されました。

ご承認ありがとうございます。また、今回のむこさぼカンパニーのアイデアに抵触する会則の内容変更に関する決議を行うための臨時総会を1月に開催したいと思います。承認される方は拍手をお願いします。

→拍手にて賛成多数、承認されました。

ご承認ありがとうございます。臨時総会はミマモルメアンケート家庭数配信にて開催いたします。

7 各委員会からの連絡事項

【校外委員会】

- ・6/22(水)に行われた合同点検の結果ですが、まだ市役所より回答はきておりません。こちらからの要望に順次対応していただいているのを確認しています。市役所より回答が来次第、改善箇所を校外ニュースにてみなさんにお知らせする予定です。※(補足)合同点検とは、田無市役所、田無警察署立ち会いのもと、学区内の危険箇所の点検、改善の依頼を学校からすることのできる、唯一の機会です。
- ・10/11(火) 西東京市総務部危機管理課依頼による「地域合同パトロール」実施
児童の下校時刻に合わせて、通学路での見守りを行いました。
- ・10月下旬 PTA 広報誌および校外ニュースを各地区のピーポくんの家へ配布しました。
学校や子どもたちに少しでも関心を持っていただき、今後とも地域のみなさまと共に、子どもたちを見守っていけるといいなと思っております。
- ・11/24(木) 第3回校外委員会を開催する予定です。

【厚生委員会】

厚生委員会から連絡させていただきます。次回の活動報告の前に、来年度この厚生が廃止されるということについての意見ですが、今年度、学校ではベルマークは回収せず、テトラパックと使用済みのインクカートリッジのみ校内で回収して、ベルマークに関しては近隣のサミットさんとか郵便局とかでの回収のみという形で縮小して活動しています。私は今回初めて1年生で厚生委員会に参加したんですが、校内でベルマークを集めていた頃の状況をいまいよく分からないのですが、集計作業をしていて、子どもとの関わりが全然見えていない状況でのすごく地道な細かい作業になるので、果たしてこれは意味があるのかなというふうに正直思いながら集計をしています。ですので、もしこういう縮小した形で子どもとの関わりがあまりないような状況で継続するのであればちょっとな…とっていたので、今回こういう形でスリム化されるのは賛成です。それで、この廃止が決定となれば、次回とか厚生委員会で集まったの活動内容も変わってくるのかなって思っています。

活動報告については、11月12日(土)に2回目の委員会を実施して、ベルマーク・テトラパック・使用済みインクカートリッジの集計作業を行いました。テトラパックと使用済みインクカートリッジに関しては、専用の箱に一定量たまった段階で業者に発送するため、回収と仕分けをしている段階です。ベルマークに関しては前年度中に集計しきれなかったものを中心に作業を進めています。

3回目の委員会は来年1月14日(土)10時~12時30分ランチルームでやることを予定しておりますが、もし来年度やらないとなった時に、その作業が無駄になってしまうのかなと。発送できる分が集まって発送ができれば今年度そままでという形でできると思うのですが、私が仕組みを100%分かっていないというところがあって、点数がハガキで残ったとしても来年度やらないのであれば、それが残るのはどうなんだろう…と分からなくて、そこの方向性をまとめていただければ次回の委員会での活動内容を片付け作業中心に、回収ボックスの回収とかそういう方にまわったほうがいいのかとあるので、方向が決まりましたらお知らせいただくと助かります。

【広報委員会】

広報委員会の活動はもう終わっているので報告はないのですが、やはり店仕舞いの部分が気になっていて、今年ではできるだけ負担を減らすためにアンケートをWEBでやったりとかメールアドレスを作ったりとか、そういう仕組みを作ったので、それを例えばですが来年以降に何か有志が出てきてやるとかということ想定して残すのか、それとももう完全に無くして、例えばCD-ROMには最低限残すけどとするのか、そこもやっぱり方向性が決まるといいなと思っております。

【役員選出委員会】

11月13日（日）に予定していた選出の会のお手伝いを学級代表のみなさんに依頼したところ、学級代表には荷が重すぎるなどのご意見をもらい、急きょ役選委員会を開き学級代表のお手伝いについて変更をすることにしました。これは2年学級代表のみなさんが、学年から上がっていた意見を迅速にとりまとめて役選委員会に伝えてくださったからです。この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。途中で依頼内容が変更となったことについては学級代表のみなさんを混乱させて申し訳なかったと思っています。

その後、選出の会への欠席者がとても多かったことなどから、PTA改革の一つとして執行部の方から選出の会中止の相談があり、直前となりましたが、選出の会は中止となりました。この件もみなさんにご迷惑をお掛けすることになり申し訳ありませんでした。

なお月末に予定されている11月27日（日）10時～ランチルームでの互選会は予定通り開催します。

8 質疑応答

<役員選出委員長よりご意見>

他の学校で保護者の会（PTA）を変える時に、話し合いの場に参加していない保護者達から「どんなメリットがあるの？変わっちゃって大丈夫？」という声と、急に改革と言われて子どもたちは困らないかななどの不安があり「デメリットを伝えたら良かった」という話をしてくださった方がいらして、そうだなと思いました。考えられるデメリットやメリットをきちんと発信すると保護者も理解しやすいのかなと思います。

<学級代表より質問>

PTA会則等の臨時総会が1年半ばということで、詳しい情報が保護者にどれだけ伝わるか分からないですが、保護者会の際に学級代表としてクラスにどこまで話したらいいのか、またどこまで話してもいいのか、をお伺いしたいです。配っていただいた運営委員会の資料をミマモルメで配信されているという前提で、保護者会ではクラスの皆様に「こういう案が出ていますので、ミマモルメ（第3回運営委員会の報告書）を確認してください」とお話しの方が良いのでしょうか？みんなが一緒に考えていけるように徐々に情報を伝えていくというのが大事ではないかと思います。そうなった場合、学級代表によって理解度が違うと思うので、資料や原稿があると皆様に周知されるのではないかと思います。

<副校長先生より回答>

言い方によっては伝わらないこともありますので、原稿は用意します。こちらの想いも込めて、ゆっくり丁寧に話していただければありがたいと思います。PTA活動が少なくなって良かったという雰囲気ではなく、さらに精選するイメージが伝われば良いと思います。執行部の想いを汲んでいただいて、共同体という思いでお話しいただけると嬉しいです。

報告は以上です。ご質問がある場合は、執行部メール（mukosyopta@yahoo.co.jp）までご連絡ください。

次回の第4回運営委員会は2月16日（木）10:00～です。2年生の学級代表の皆様には開始15分前に集合していただき、テーブルセッティング等の準備をお願いいたします。腕章の回収を行いますのでお持ちください。

【グループディスカッションや運営委員会後にいただいたご意見】

※順不同、質疑で触れた内容・重複意見は省略

- ・自発的にやりたいという方がいればベルマーク集めをする、といった態勢になる？でも、今は子どもとの交流がない状態でやっているの、あまり意義を感じない⇒流れを分かっている人が一人いればできる。
- ・入学したばかりでネットワークがない人の良い機会に？でも、いるときだけだと定期的な回収が必要なので不定期は厳しい。予算は？広報誌などはインターネットでよいのでは？学校に印刷してもらう？
- ・残した方がいいもの以外は自由？残すものの決め方／自発的なものをどう実現する？に分けて考える
- ・係決めのシステムを変える（学級ごとではなく学校や学年全体でなど）事前に集めたアンケートデータを上手く活用する→誰が希望しているかを知ること「やろうかな」と思う人も出てくるかもしれないので、保護者会等で一部公表するのもよいかもしい⇒余って仕事しない人がいるのに免除権ある人に仕事がいくというようなことが起こらないようにできるだけ均等に仕事が割り振られるようにする
- ・「むこさぼ 1～3 は廃止や外注を含め検討中」とあるが、むしろこの 3 つは人気があると思った。手が挙がるのでは？（外注は不要かも。仕事が 1 回で済むし、行事に参加するついでにできる）
- ・現実的には実行は難しいが、PTA 会費を上乗せすることで仕事をしなくてよくなるという決まりがあったら、お金で解決できるならと払いたい人もいるのでは⇒でもお金で対応するのは難しいだろう…
- ・今回出た今後の変更案がいいと思う
- ・「やってくれる人がやる」の流れだと、いつも同じ人に任せてしまうと、いつも同じ人たちの中に新しく入ることが難しいと感じる人もいるかもしれない（風通しが悪くなるかも？）などの心配が少しある
- ・結局どのようにむこさぼカンパニーのメンバー（運営チームメンバーなど）を決めるのか？最後は強制になるのでは？
- ・基本的な運営はまるっと外注したらいいのでは？例えば旅行会社でそのようなパッケージがある⇒それを基盤にすすんでサポートに入りたい保護者が入っていくなど
- ・むこさぼメンバーの方々に給料を支払ってもいいのでは？
- ・「保護者の考える子どもたちのお楽しみ会」の発案はとても良いと思いました。子どもたちの普段の顔が見られる機会を望んでいる保護者も多いと思いますし、それなら参加したいと考える保護者も増えるのではと思いました。
- ・取り組み方変わると書いてありますが、これで立候補者が増えるのかな？という疑問もありました。
- ・小さい子どもがいる時はカンパニーに参加できなくても、学年が上がると参加できると良い。
- ・むこサポ導入のように全員に周知（動画配信など）、アンケートなどを取ってから決を採った方が良いのでは。ここで決を急がなくてもいいのではないか。
- ・読み聞かせなど専門の人に依頼してもいいのでは。
- ・非常に大きな改革案に驚きましたが、時代にあった PTA の形に変えるのには賛成です。運営チームの決め方はくじ引きでも何かしらの最終選出のような決め方はあったほうが良いと思います。基本は立候補制だが、必ず規定数は選出出来る体制を何かしら考える必要はあると思います。そのためにはある程度の強制はあっていいとも思います。立候補までは出来ないけど「当たればやる」という消極的な方もいると思うので、そういう方の活躍の場を奪ってしまう可能性も考えられます。
- ・色んな立場の保護者が交流する場としても、PTA の存在は形を変えようとも有ったほうが良く、期限を決めて立候補が出なかったらクジで選出、その中で互選会でもいいと思います。係は人数減らすくらいで、今までと変わらずあっても良いと思います。
- ・学校公開などの外部への委託案は、斬新でいいとも思いますが、これらの係は 1 番人気ですぐに集まるので予算の無駄な気がします。その分会費をさげた方が喜ばれる気がします。広報など委員会なくすならば予算も変わる気がします。

以上、多くの貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。いただいたご意見の中には既に検討している取り組みやアイデアが多数あり、皆様にご理解をいただきながら可能な部分より具現化を進めます。